

第2回VAD管理技術研究会 勉強会アンケート結果報告

2014年7月18日開催

参加人数:179人

アンケート回収率:72%

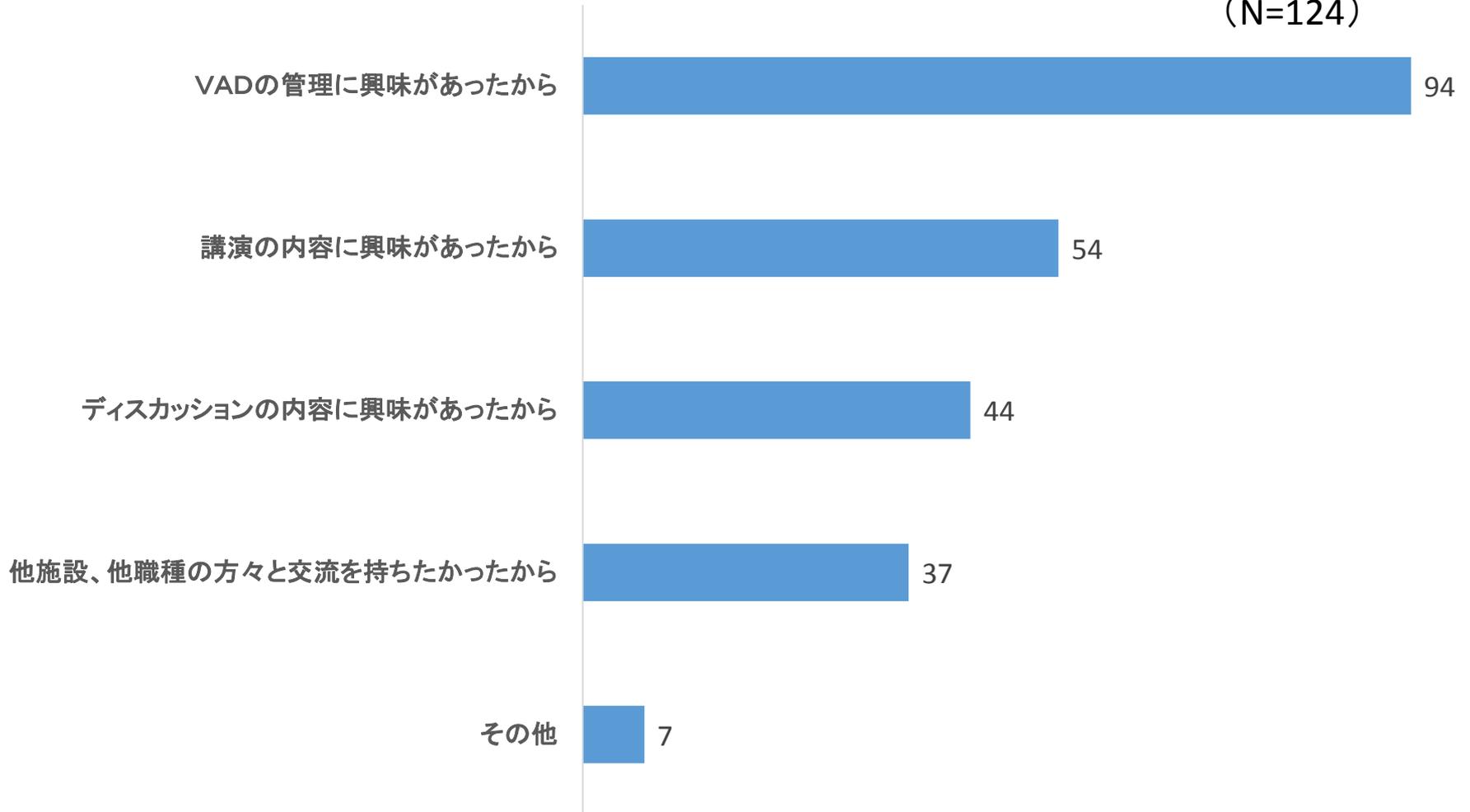
回答者職種(人)

医師:1 看護師:65 理学療法士:2 作業療法士:1 臨床工学技士:37

メーカ:13 その他:2 無回答:3

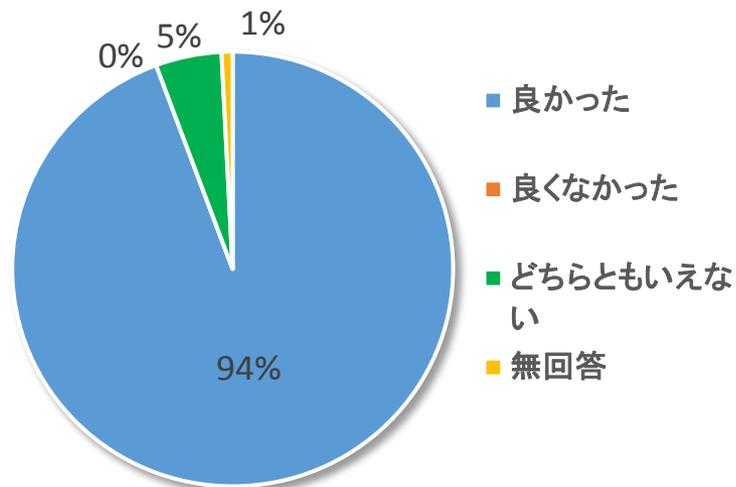
1. 勉強会に参加しようと思った主な理由を教えてください(複数回答可)

(N=124)

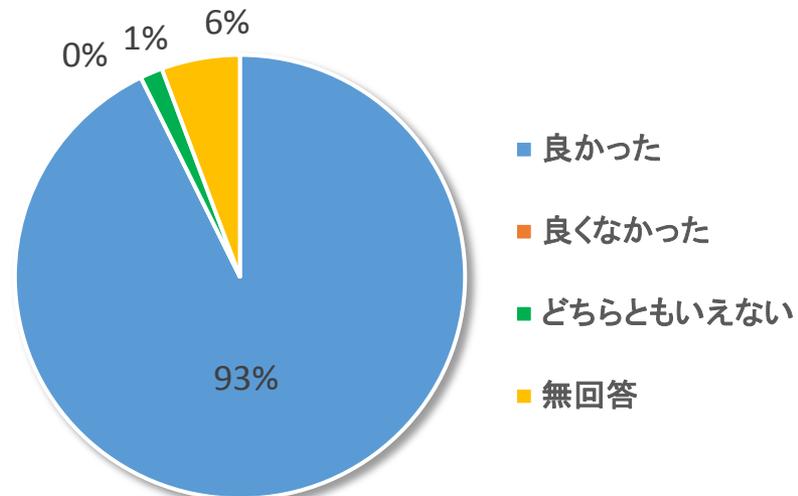


その他:VAD管理に携わるようになり学習の機会を得たいと思った、上司のすすめ、同僚の紹介
仕事に活かせると思った、2014/4にVADを開始し植込みを目指している

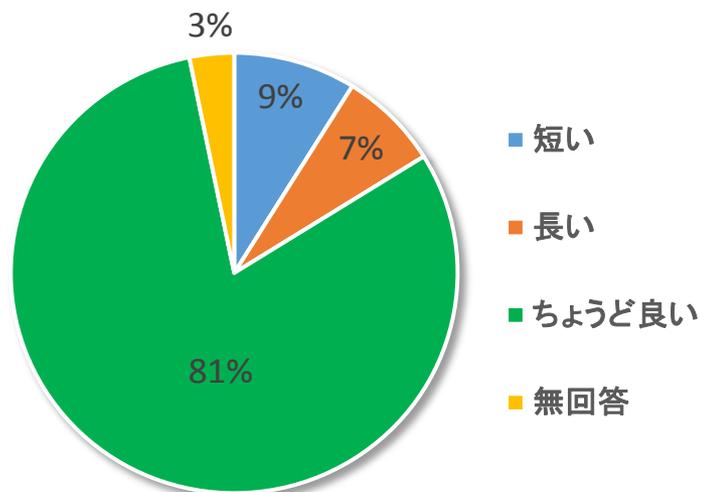
2.講演の内容はいかがでしたか？



3.ディスカッションの内容はいかがでしたか？



4.勉強会の時間はどうでしたか？



5.本日の勉強会の感想を自由にお書きください。

- ・ 他施設のことを聞いてよかった
- ・ 経験談が興味深かった
- ・ 失敗談を共有し、考えることができたのは良い機会だった
- ・ 現場で実際に困った例だったのでイメージしやすかった
- ・ 様々な事例を挙げられてのお話で分かりやすかった
- ・ 学会では聞けないことを知り勉強になった
- ・ 全国から多職種が集まる貴重な会だと思う
- ・ 初めての参加で、世界が広がった
- ・ 米国と日本の違い(DTとBTT)はあるが、Ptの思い、QOLを考えて関わり、看護ができるとよいと感じた
- ・ VAD先進国の米国でのDTの問題点を聞き、数年後に日本も同じような状況になるのではと強く感じた
- ・ 家族へのサポートの重要性を感じた
- ・ ディスカッションがよかった、時間がもう少し長くてもよかった、(参加施設が多い？テーマを絞る？)
- ・ 毎回講演の内容が違って楽しい

6.次の勉強会で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・ スタッフ教育
- ・ VADチーム構築と問題点
- ・ 脳のイベント後、認知機能が落ちてきたPtに対する教育やstatus等の話
- ・ 高齢介護者へのケア
- ・ 患者、家族のメンタルケア
- ・ ICUと一般病棟でVAD患者さんへの関わりにおける違い
- ・ トラブルシューティング
- ・ 実際の海外でのVADの看護を具体的に
- ・ 地域の病院(非認定施設)や訪問看護ステーションとの連携
- ・ 教育方法
- ・ 創部管理(感染対策)
- ・ 外来管理の工夫・教育、退院後の教育
- ・ 急性期と慢性期の管理
- ・ DT時代の器械の寿命

7.本会の活動に対する要望がありましたら、 ご記入ください。

- ・ 飲食可であればよかった
- ・ 地方でも開催してほしい
- ・ 遠方からでも参加しやすいよう、もう少し早い時間から始めてもらえるとありがたい
- ・ 継続してほしい
- ・ 症例が少ない施設の発表も聞きたい
- ・ VAD管理に関するガイドラインを作成してほしい
- ・ 回数を増やしてほしい

ご協力いただき
ありがとうございました。
今後ともどうぞよろしく
お願い致します！！

